

ひょうごの 赤十字



2017.6月
June



特集

赤十字運動月間のご報告



イラン赤新月社社長が支部訪問
パレスチナ医療支援調査へ
5月12日看護の日
「姫路市地区赤十字のつどい」を開催
青少年赤十字新メンバーを迎えて
講習のご案内

 日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号



078-241-9889



赤十字 兵庫

検索



赤十字運動月間のご報告

「神戸まつりおまつりパレード」に参加

5月21日(日)、晴れわたる空のもと、神戸港開港150年記念「150年のみなと神戸に逢いたくて」をテーマに第47回神戸まつりが開催され、兵庫県支部は「おまつりパレード」に参加し、赤十字活動への理解と協力を呼びかけました。パレードへは5月の赤十字運動月間のPR活動の一環として毎年参加しています。



装飾車両や、大きな赤十字バルーン、救急車や献血バスなどの赤十字車両とともに、看護学生や奉仕団員、支部・施設職員総勢60人が、赤十字旗や風船、プラカードを持ちパレードし、いのちと健康を守る赤十字活動のPRをしました。

赤十字レッドライトアッププロジェクト2017

昨年からスタートした「赤十字レッドライトアッププロジェクト」

5月8日は世界赤十字デー(赤十字の創設者アンリー・デュナン生誕の日)として世界的に赤十字運動をアピールする日とされています。

さらに今年の5月1日で、日本赤十字社は、西南戦争の最中、その前身である博愛社が創立してからちょうど140年を迎えました。

人道の歴史に思いをはせると共に、紛争や災害で苦しむ人々に寄り添い、「人道」の想いをつなげる赤十字の灯りが全国各地の歴史的建造物やランドマーク等に点されました。

兵庫県支部では「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」のご協力で5月1日～31日まで赤十字マークのライトアップを実施しました。



ショッピングセンターでミニ講習を実施

5月の赤十字運動月間の一環として、救急法ミニ講習イベントを2カ所で開催しました。

5月13日(土)のイオン明石ショッピングセンター(明石市)では83人の方にAEDの使い方や心肺蘇生の体験をしていただきました。また、5月28日(日)にはブルメール舞多聞(神戸市垂水区)でも実施しました。

参加者からは「AEDは色々な場所で見かけるが、実際に操作することは初めてで緊張したが、体験することができてよかった」「いざという時のために今後も忘れないようにしたい」などの感想をいただきました。



いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます



口座記号番号：01110-0-1136

口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。



国際交流

イラン赤新月社社長が支部訪問



イラン赤新月社社長（左中央）と
意見交換をする藤原事務局長

4月27日イラン赤新月社の社長と事務次長が兵庫県支部に来訪。

前日まで長崎で開催されていた核兵器の禁止や廃絶をテーマに議論する「国際赤十字・赤新月運動会議」に出席された後、神戸に到着。

阪神・淡路大震災から22年目、震災の道のりとその後の災害への備えの取り組みを学びたいと、兵庫県支部に来訪されました。イランは日本と同じように地震の発生が多いうえ、洪水や土砂崩れ、日照りなどの自然災害も多く発生することから、当支部の事務局長との意見交換では、大震災を経験した兵庫県の防災への取り組みについて熱心に聞かれていました。

阪神・淡路大震災の教訓をもとに兵庫県の災害医療の統括施設として整備され、当支部に隣接する兵庫県災害医療センターも視察、救急医療設備など日本の医療設備にも強い関心を持たれていました。

その後、「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」を訪問し、帰国の途に就かれました。



国際救援

パレスチナ医療支援調査へ



現地の病院での現状を聞く
高原看護師（右）

4月7日～26日、姫路赤十字病院の高原美貴看護師が、日本赤十字社の国際医療救援事業としてのパレスチナの病院での医療支援の実施に向け、調査を行いました。

パレスチナは、「ヨルダン川西岸地区」と「ガザ地区」に分かれ、1993年に交わされたオスロ合意に基づき、この2つの地区は「パレスチナ暫定自治区」とされ、自治政府として存在しています。

パレスチナ難民の約70年間にも及ぶ難民としての暮らしは、国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）が行う様々な支援と、同時に多くの政府やNGOが行なう支援によって支えられています。

その中でも重要な役割を担っているパレスチナ赤新月社から日本赤十字社に対して医療支援の要請がありました。昨年の初期調査の結果、ガザ地区及びレバノン共和国の病院が支援先の候補となり、より詳細な現状調査や事業計画策定、関係機関との調整を通して医療支援計画の作成が必要とされることから、高原看護師がガザ地区の2病院の医療調査を実施するために派遣されました。今後、具体的な支援計画に入っていきますが、「92の病院を有する日本赤十字社の強みを生かして全社体制での支援となり、今後の国際救援を担う要員育成の場にもなれば」と高原看護師は話していました。



5月12日看護の日

～ナイチンゲール生誕祭を開催～



川西市花屋敷にあるナイチンゲール像

ナイチンゲールの生誕日である5月12日、川西市花屋敷1丁目に立つナイチンゲール像の前で川西市赤十字奉仕団主催による生誕祭が執り行われました。

ナイチンゲールは、クリミア戦争において、敵味方の区別なく献身的な看護を行い「クリミアの天使」として仰がれました。

生誕祭には大西川西市地区長（市長）をはじめ、兵庫県議会議員や赤十字奉仕団員等約50人が出席し、カーネーションの花をナイチンゲール像に献花しました。この像はロンドンにあるナイチンゲール像を原型にして1936年に造られたもので、世界に2つしかないと言われていています。同奉仕団は日頃から清掃活動などを行いとても大切にしています。

【姫路赤十字看護専門学校生が灯す光】

5月12日ナイチンゲールの生誕を祝い、毎年姫路赤十字病院においてナイチンゲール祭を行っています。今年のテーマは、「安らぎの灯（ともしび）」。入院患者さんに、キャンドルの灯のぬくもりと入院生活を送っておられる患者さんに、キャンドルの灯のぬくもりと看護学生の心のぬくもりを届けたいという思いで行いました。多くの患者さんが楽しみに待っていて下さり、感動の涙を流しながら、一緒に歌を口ずさんでられました。「わずかな時間ですが、少しでも安らいでいただければ嬉しい」と看護学生は話していました。





「姫路市地区赤十字のつどい」を開催



5月19日、姫路市で姫路市赤十字奉仕団の皆さん60人が参加し「姫路市地区赤十字のつどい」が開催されました。姫路市地区で第35回目を迎えるこの式典は、赤十字の理解につながるという岩田委員長の考えから、昨年より救急法の講習を奉仕団員に実際に受講していただく実践型の式典へと変更しています。今回は、一次救命処置ときずの手当の講習を2つのチームに分かれて受講し、受講後はチームごとに発表しました。最後に非常食(アルファ米)を試食し、奉仕団の皆さんは、非常食の種類之多さと美味しさに驚いていました。藤原事務局長は開会にあたり、非常食等の



救急法の講習の様子

の備えの重要性や本年5月1日で日本赤十字社が140周年を迎えたこと、現在の活動を未来に繋げていくのが兵庫県支部の責務であると挨拶されました。



青少年赤十字新メンバーを迎えて

～平成29年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会加盟式・例会(第1学期)を開催～

4月30日、新メンバー(生徒)を迎え、兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会加盟式と例会(第1学期)が兵庫県支部で開催されました。

加盟式では、青少年赤十字メンバーとして活動していくことを全員で誓いました。

例会では、本年度の活動テーマ「健康・安全」の一環として、兵庫県赤十字血液センターの職員による献血についての講義と血液センターの施設見学の後、ワークショップで学んだことを生かした献血呼び掛け用のポスターやプラカードの作成を行うなど、献血について学びました。



講習のご案内



救急法基礎講習

8/8(火) 8/19(土) 13:00~17:30

救急法基礎・救急員養成講習(3日間受講)

8/1(火)・2(水)・3(木) 8/20(日)・21(月)・22(火) 9:30~17:30 (初日は13:00~)

科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。

健康生活 日常生活における介護(移動)
支援講習 8/25(金) 10:00~12:00

健康生活 リラクゼーション 癒しのハンドケア
支援講習 8/25(金) 13:00~15:00

◇申込期日は開催日(初日)の1か月前までです。 ◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

お問い合わせは、お電話またはホームページで ☎ 078-241-1499 (講習係)